

## 新春の恒例行事 関伝古式日本刀鍛錬打ち初め式と 刀剣研磨外装技術仕事始め式

- とき 毎年1月2日 午前10時から
- ところ 関鍛冶伝承館(関市南春日町)
- 主催 関伝日本刀鍛錬技術保存会

新年1月2日、一年の無事、盛業を祈り烏帽子や白装束に身を包んだ刀匠が、鍛錬の奉納を行います。

この古式日本刀鍛錬打ち初め式は、昭和52年から刀剣関係者により行われています。

以前は、各刀匠鍛錬場において実施していましたが、現在は、関伝日本刀鍛錬技術保存会の刀匠が一堂に会して行っています。

刀匠ゆかりの春日神社でお祓いを受けた刀匠らが、鍛錬場で火入れ式を行ない、鍛錬を公開します。

また、関鍛冶伝承館内にある技能公開場では、技能師らが1年の盛業と無事を願い神事を行います。



今回の日本刀鍛錬公開は、一般入場者の人数制限を80名から**90名に変更しました。**  
**※9時から入場整理券を配布します。**

### 【日程】

- 9:30 修祓の儀(春日神社拝殿)
- 10:00 研磨外装仕事始め式  
(関鍛冶伝承館技能公開場)
- 10:10 火入れ式・鍛錬一般公開  
(関鍛冶伝承館鍛錬場)
- 11:00 終了 ◆関鍛冶伝承館、鍛錬場ともに入館、入場無料。

### ※お願い※

- 鍛錬の公開は、折り返しの工程を2回行いますが、1回目を報道機関様の撮影用とします。
- 座席の都合上、事前に人数を確認するため、取材にお越しいただける場合は、12月26日(木)までに事務局へご連絡願います。
- 鍛冶場での撮影場所は報道機関様同士で協議して決定してください。当方では責任を負いかねますのでご了承ください。

### <照会先>

関伝日本刀鍛錬技術保存会 事務局 (関市協働推進部 文化課内 TEL0575-24-6455) 担当: 荘加  
会場: 関鍛冶伝承館 (TEL0575-23-3825)